

大鹿村中央構造線博物館たより 73号



月・火曜日休館

TEL&FAX: (0265) 39-2205 E-mail: mtl-muse@osk.janis.or.jp

— 2015年夏のイベント 参加者募集中! —

「第16回 地震火山こどもサマースクール in 南アルプス」

- 期日：8月8日（土）～8月9日（日）1泊2日
 - 活動場所：南アルプス林道、杖突峠、仏像構造線 唐沢露頭、中央構造線 溝口露頭、長谷公民館（戸台の化石資料室）、伊那市創造館など
 - 集合：8月8日（土）9：00 伊那市創造館（長野県伊那市荒井 3520 番地）
 - 宿泊先：国立信州高遠青少年自然の家（長野県伊那市高遠町藤沢 6877 番 11）
 - 募集対象：小学5年生～高校生 定員：40名程度
 - 参加費：1人2000円（予定） 申し込み締切：7月1日（水）
 - 主催：日本地震学会、日本火山学会、日本地質学会、南アルプスジオパーク協議会
- ※詳細、お申し込みは公式ホームページにて <http://www.kodomoss.jp/ss/minamialps/>

「大鹿村ジオツアー」

- 期日：8月22日（土）～8月23日（日）1泊2日（宿泊：赤石荘）
※大鹿村内在住の方は、ご自宅から通って参加することも可能です。
- 参加費：1人¥1000（博物館入館料と保険料含む、宿泊費と2日目の昼食代は別）
- 定員：20名（定員に達し次第、申し込みを締め切ります）
- 集合：8月22日（土）15：20 大河原バス停
（松川インター14：09 発の路線バスが、15：15 に大河原に着きます）
- 申込先：大鹿村中央構造線博物館 電話 0265-39-2205 申し込み締切：8月2日（日）
- 日程（内容、時間等が変更になる場合がございます）

1日目 8月22日（土）

時間	場所・内容
15:20	大河原バス停 集合
15:40	安康露頭
17:00	中央構造線博物館
18:10	宿泊先(赤石荘) 到着

2日目 8月23日（日）

時間	場所・内容
8:00	宿泊先(赤石荘) 出発
9:00	夕立神展望台
10:50	福德寺
11:40	大西公園 昼食
12:50	塩の里・黒部銃次郎の坑道跡
13:50	中央構造線博物館
15:00	博物館にて解散

神城（かみしろ）断層地震から学ぶ その6

地理学会（3月28日）、地震工学会（5月15日）、地球惑星科学連合（5月28日）に参加し、調査結果を聞きました。神城の下の震源断層が深部では意外と急角度であることや、震源が気象庁の速報より東だったことがわかりました。白馬村飯森では、今回は断層が50cmずれ動きましたが、1714年の大町組地震のときにも50cmずれ動いた跡が発掘調査で見つかりました。堀之内と三日市場では、立ったままの建物も、その多くが基礎が転倒して全壊状態だということです。ただし、基礎を壊した地面の変形が、地下の断層のずれ動きで生じたのか、強い揺れで表面だけ変形したのか、見方は分かれたままです。

—もっと大きな地震の前触れ？ それとも次の地震は300年後？—

白馬村や周辺の人たちにとって最大の問題は、このことだと私は考えます。

今回の地震は断層の10kmより浅い部分が動いて発生しました。300年前のそっくりな地震も、浅い部分だけが動いて起こったのかもしれませんが。

内陸の地震を起こす断層は、ふつうは深い部分ほど噛み合いが強く、大きなエネルギーが溜まります。もし10kmより深い下半分に大きなエネルギーが残っていれば、もっと大きな地震が300年間隔の浅い地震とは別に繰り返している可能性があります。たとえば西暦762年の信濃の大地震がそのような地震かもしれません。とすれば白馬村でも「次の地震は300年後」と安心してはいけないということになります。

これからその検討が深まることを期待して、とりあえず連載を終わります。（河本）

～講演会のお知らせ～

さぎや たけし
鷺谷 威 さん（名古屋大学 教授）による講演

① 「南アルプスは高くなっているか」

② 「GPSでわかってきたこと」

日時：2015年11月21日（土）13：30～15：30 場所：大鹿村交流センター

※聴講無料・申込み不要です。